


ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団体名	ナシオン創造の森 育成会		
団体の所在地	兵庫県西宮市	代表者名	中尾 利子

1. 事業名	住民参加の自然啓発活動		
2. 実施期間	平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月		
3. 主な実施場所	西宮市東山台【ナシオン創造の森】		
4. 活動形態	実践活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>1) 春のイベント「創造の森探検、モンキーブリッジに挑戦！」4/12 参加者 37 名(地域住民) 森の散策とクイズやモンキーブリッジを楽しむ 秋のイベント「ヤキイモ大会」12/12 参加者:59 名(地域住民) 間伐体験、木工作、焼き板作りを実施</p> <p>2) トライやるウィークで中学生を受け入れ、座学と間伐体験を実施 5/18～22 参加者:9 名(塩瀬中学校 2 年生)</p> <p>3) 東山台小学校3年生の自然体験学習を年3回実施 5/27:植物集め 99 名(児童と教師) 11/11:葉っぱの形集め 144 名(児童、保護者、教師) 2/17:生き物の冬の過ごし方 129 名(児童、保護者、教師)</p> <p>4) セミナー開催「貴重種の保全と復元」11/15 講師:石田弘明先生、参加者:14 名(地域住民) 午前中に講演、午後に創造の森でフィールドワークを実施</p> <p>5) サマーフェスティバル出店 8/29 森の素材で作ったクラフト約 50 点、カレー60 皿完売</p>		
6. 成果・反響・ 反省点等	<p>1) イベント開催により地域住民が森に親しみ、当会の活動を理解してもらうことができた</p> <p>2) 3) 小中学校の環境学習の実施で子どもたちや保護者の自然に対する関心が強まり毎年参加者が増えている</p> <p>4) セミナー開催により、生物多様性について学ぶことができ、【創造の森】の中にある貴重種の保存と復元の方法を具体的にアドバイスを受けた。このセミナーがきっかけで新入会員が現れた</p> <p>5) サマーフェスティバルで森の材料で制作したクラフトが街の人たちに受け入れてもらえ完売したことは育成会にとって大きな自信になった これらの育成会の活動を通して、環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定された</p>		
7. 成果物	特になし		
8. 活動写真	 <p style="text-align: center;">(森のクラフト販売 セミナー開催 間伐体験)</p>		